

令和7年度総会報告

令和6年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、令和7年度の事業計画・会費徴収額、予算等は、4月27日(日)に自治会連合会役員にて総会を開催し、すべての議案が承認されました。

令和7年度事業計画

- 次の6つの基本方針に沿って、4つの事業に取り組めます。
- ① 互いに支えあい、安全安心の住み良いまちづくりの取組みを推進する
 - ② 次世代に自信をもって引き継げる単位自治会の強化と課題対策及び地域活動に携わる人材の発掘と育成を図る
 - ③ 交流センターを核とした地域づくり協議会の活動を推進し、地域住民主体のまちづくりを推進する
 - ④ 防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成、多文化共生、男女共同参画に関する施策を地域づくり協議会と相互に補完し合い、理解と連携、調整をもって協力体制が図られるよう「補完型」の体制を取り事業を展開する
 - ⑤ 自然災害等災害発生後における情報収集、伝達及び支援活動を行政と連携して展開する
 - ⑥ 行政、関係機関、団体との連携を図り地域力の向上を目指す

取組事業

地域力向上

自治会連合会だよりの発行、市長と市政について語る会の開催、女性役員の選出・活躍推進・支援、地域活動のDX化※1に向けた研究など

防災、減災

家庭防災の日による自助の推進、災害を想定した訓練による自助、共助の推進など

防犯

青色回転灯装備車など防犯パトロールの強化、特殊詐欺被害撲滅に向けた取組みなど

交通安全

ピカッと作戦(早めのライト点灯と自発光式反射材の着用)の推進、自転車マナー向上に係る取組みなど

※1 Digital Transformationの略語。デジタル技術を活用し、新たな価値の創出と仕組みの変革を進めること。

磐田市自治会連合会 安全安心まちづくり宣言

私たち磐田市自治会連合会は、「安全・安心の住み良いまちづくり」の実現に向け、地域で発生する犯罪や交通事故を防ぐために、個人での対策はもちろん、地域全体で活動に取り組む必要があると考え、交流センターを中心とした地域づくり協議会を核に、各種団体と連携しながら広域的に取り組んでおります。

犯罪件数は減少傾向にありますが、近年は電話を使用した振り込め詐欺被害が大きな社会問題となっており、撲滅に向けた取り組みが急務となっています。また、市内では高齢者や自転車が関与した交通事故が多数発生しております。

こうした現状を踏まえ、私たちは、本研修会を契機として、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、新たな決意で、

- 1 地域が一体となって防犯・交通安全活動に取り組もう
- 2 地域住民への防犯・交通安全意識の啓発を図ろう
- 3 子どもや高齢者を犯罪や交通事故から守ろう
- 4 振り込め詐欺を撲滅しよう
- 5 自らの安全は自ら守ることを心がけよう

を合言葉に「安全・安心の住み良いまちづくり」の実現に向けて、まい進していくことをここに宣言いたします。

令和7年5月17日 磐田市自治会連合会

令和6年度収支決算

収 入			支 出		
費 目	決算額 (円)		費 目	決算額 (円)	
会 費	1,005,000		会 議 費	487,016	
交 付 金	7,276,500		事 務 費	2,787,492	
収 入 負 担 金	305,000		視 察 研 修 費	342,950	
前年度繰越金	1,776,680		事 業 活 動 費	4,779,062	
雑 収 入	1,390		支 部 研 修 費	94,953	
合 計	10,364,570		負 担 金	236,510	
差引残額 1,636,587 円は翌年度に繰り越す。			予 備 費	0	
			合 計	8,727,983	

令和7年度収支予算

収 入			支 出		
費 目	予算額 (円)		費 目	予算額 (円)	
会 費	1,005,000		会 議 費	850,000	
交 付 金	7,170,000		事 務 費	3,156,000	
収 入 負 担 金	759,000		視 察 研 修 費	1,050,000	
前年度繰越金	1,636,587		事 業 活 動 費	4,800,000	
雑 収 入	413		支 部 研 修 費	250,000	
合 計	10,571,000		負 担 金	300,000	
			予 備 費	165,000	
			合 計	10,571,000	

磐田市自治会連合会だより

磐田市の未来のために

回覧 vol.46

この連合会だよりは、連合会のホームページからも見るができます →



会長メッセージ

20周年を振り返り、さらなる発展に向けて



磐田市自治会連合会長
大澤 房男
Fusao Osawa

本年度4月より会長を務めさせていただきます「大澤房男」と申します。

磐田市自治会連合会は、平成17年の5市町村合併を機に新しく編成されました。本年度は合併後市制20周年に併せて記念すべき年を迎えています。

編成時においては組織改正を含め多くの皆様のご多大なるご努力とご苦労があったと聞き及

んでいます。初代の杉田友司会長のご尽力によりまとめ上げた組織は、次の神谷五郎会長、そして村上勇夫会長、次に深田研典会長へと積み上げられ現在に至っています。この前任者の皆様のご努力とご献身には敬意を表すとともに、改めて次世代を担う重責を感じながらのスタートとなりました。微力ではありますが、どうぞ宜しくお願い致します。

磐田市自治会連合会組織は、300の自治会が加盟し、29名の地区長、5名の副会長兼支部長(次頁に掲載)、会長により構成され、市の自治デザイン課が事務局を担っております。自治会長の皆様には日頃より連合会活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。上げるとともに、安全で安心な地域の実現に向け、役員一同、一緒に地域づくりを推進してまいりたいと考えています。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

さて、少子高齢化や人口減少が進む中で、これからの地域における諸問題の解決には、住民同士や地域間での交流がますます重要になると考えます。安全で安心な地域の実現に向け活動をしている組織が、市内23の交流センターを核とした「地域(まち)づくり協議会」です。

地域(まち)づくり協議会は、概ね市内小・中学校区を活動範囲とし25の地域により活動しています。自治会長の皆様にも地域全体で行う事業への参加をお願いするとともに、自治会情報の発信の場として活用していただき、お互いの交流を図りながら、それぞれが抱える課題を共有する場として機能させることで、効率的な自治会運営と自治会長の負担軽減につなげていけるものと考えています。具体的な一例として「中学生以上全住民アンケート」という取組があり、主な内容は、協議会の活動内容の見直しや地域における連携・連帯意識の調査を行い、世代ごとに結果をまとめたものになります。実施後はアンケート結果を地域の中で共有し、持続可能な地域活動につながることを期待して取組を進めています。

また、昨年度には市内協議会のまとめ役として「地域づくり協議会連絡会」が新たに発足し、協議会同士の情報共有の場として、また直面する課題をテーマとして検討が行われ、より良い地域づくりの実現に向け活動が進められています。

今後、自治会連合会は地域づくり協議会連絡会との連携をさらに深め、自治会長を軸とした住民自治のまとめ役として、また、地域づくり協議会連絡会は各部会運営を軸とした地区共有事業の推進役として、地域力向上と地域づくりへの住民参加を促すことを目的として活動していきます。

私は、地域の課題は地域自らの手で解決していくべきものだと考えています。「地域力アップ」を目指して、みんなで頑張っていきましょう。

本文を最後までご一読いただき、ありがとうございました。宜しくお願い申し上げます。

地域づくり協議会の詳細は2次元コードから参照することができます ▶



【令和7年7月16日発行】 発行：磐田市自治会連合会 編集：磐田市自治会連合会 総務部会

連絡先 磐田市自治会連合会事務局(自治デザイン課)
TEL (0538) 37-4811 http://www.iwatashi-jichikai.jp

各地域の取りまとめ役と支部長メッセージ

磐田支部

課題解決は継続できるシステムを

磐田支部における令和7年度自治会長は141人中108人が新たに就任され、自治会長の新任率は76%です。このような中で、地区内の課題解決が先送りされてしまうことがあります。そのような場合の解決策として、地域の皆さんと一緒に考えることが大切です。

例えば自治会活動の見える化を図ることで活動内容を整理することができ、課題も明らかになってきます。多くの課題は1年での解決は困難であるため、プロジェクトチームを作り複数年にわたって対応するなど、課題ごとにスケジュールを立てて継続的に取り組むことが大切だと考えます。その際には、リーダーが必要ですので、そこは地区内で検討していただければと思います。

磐田支部内の各地区でもさまざまな課題を抱えていることだと思います。単年度で解決できない課題について、継続して取り組めるシステムをお考えになったらいかがでしょうか。



磐田支部長
藤原 孝一



見付地区長
小杉 泰久



天竜地区長
酒井 宏高



中泉地区長
兼田 清



長野地区長
鈴木 邦彦



於保地区長
田中 寿夫



大藤地区長
河島 直明



向笠地区長
鈴木 千加子



岩田地区長
鈴木 隆之



西貝地区長
磯部 知明



御厨地区長
増田 和宏



南御厨地区長
山下 重仁



田原地区長
山下 新一



今之浦地区長
寺田 和芳

福田支部

福田支部は二つの課題があります。

一つは、発足10年目の「せいかつ応援倶楽部」の運営体制を持続可能となるべく、「地域でお互い様の関係づくり」を積極的に進めること。

今一つは、「はまぼう学府小中一体校」に対する地域の意向を取りまとめ、理想的な教育環境づくりを地域づくりとともに進めること。

福田支部として、地域の多くの声を頂戴しながら、力を合わせ課題解決に邁進していきます。



福田支部長兼福田西部地区長
田中 潤



福田南地区長
大石 光泰



福田中地区長
柏木 將生



福田北部地区長
大杉 貞博



豊浜地区長
鈴木 秀和



交流センターだより／地域づくり協議会だよりが市ホームページで見ることができるようになりました！



自治会連合会ホームページ
さまざまな情報をお伝えしています！



竜洋支部

自治とは自分(たち)で決めて、自分(たち)で担うこと、抱えるさまざまな課題解決には常に顔の見える関係を築き、絆を深めていくことが大切だと思います。社会は人口減少、少子高齢化、生活の多様化など、自治会の役割も大きく変化しております。防災、防犯、安全、福祉、子どもたちの健全育成、地域の活性化などの大きな課題については地域全体で取り組み、多様なニーズに応えるために、住みよいまちづくり協議会において効率的、効果的、持続的な活動が必要と考えております。

知恵を出し合って、力を合わせて安全安心の住みよいまちづくりを目指して活動していきたいと思います。



竜洋支部長
吉野 博行



竜洋西地区長
鈴木 和夫



竜洋東地区長
山中 喜代久



竜洋北地区長
佐藤 文弘

豊田支部

この度豊田支部長(副会長)を拝命しました山崎次廣です。前任大澤房男さんが、連合会長に就任され、後任として就任することとなりました。前職は、平成29年から豊田東地区(豊田東地区まちづくり協議会)の会計を4年間務め、令和3年より会長(協議会会長を)4年間務めました。東原東自治会に居住しています。

連合会副会長がどのような役か分からないまま引き受けましたが、自分なりに最後のご奉公かと思いいっぱい務めさせていただきます。

よろしくご指導のほどお願い申し上げます。



豊田支部長
山崎 次廣



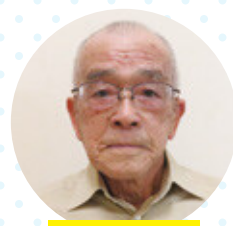
井通地区長
山岡 二三雄



青城地区長
鈴木 正



富岡地区長
藤田 鉄士



豊田東地区長
金田 敏彦



池田地区長
市川 健一

豊岡支部

取り組み一つ目は、災害に対する事前の備えの向上です。豊岡地区は、3年連続で豪雨により大きな被害がありました。自然災害の発生を防ぐことはできませんが、事前に備えれば被害を最小限に減災することは可能です。研修会・訓練などで災害対応力向上(自助・共助)を図っていきます。

取り組み二つ目は、豊岡北・南地区が令和7年度交通事故防止対策モデル地区に指定されました。地域づくり協議会と連携して、交通事故防止啓発活動を進めていきます。

なるべく多くの人に少しずつ関わっていただき、安全安心の住みよいまちづくりを目指して活動していきたいと思います。



豊岡支部長
青野 博美



豊岡北地区長
金子 純



豊岡南地区長
村松 庸志



豊岡東地区長
佐野 健夫